

取扱説明書



保証書

株式会社 カスタム
印ス会

保証規定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

- 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - 不適当な取扱い、使用による故障
 - 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
 - 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
 - その他当社の責任とみなされない故障

型番	SS-12	ロット番号	
保証期間	年 月 日より1ヵ年		
お客様	お名前	様	
	ご住所 電話番号		
販売店	住所・店名		

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

株式会社 カスタム

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-12
TEL (03) 3255-1117 FAX (03) 3255-1137
http://www.kk-custom.co.jp/

このたびは、当社のスネークスコープをお求めいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。

安全にご使用いただくために

本器を安全にご使用いただくために、以下の事項を守り正しくお使い下さい。

安全上のご注意 必ずお守りください

- ⚠ 警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
- ⚠ 注意** 人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

⚠ 警告

- ・指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わないで下さい。
- ・落下や過度の衝撃、振動を与えないで下さい。
- ・本器を破損したり重大事故を引き起こしたりする恐れがあります。
- ・故障が疑われる場合は使用をおやめ下さい。
使用前に亀裂、破損等の異常がないかを十分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止して下さい。
- ・本器の分解、改造は行わないで下さい。
修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせ下さい。
- ・本器を加熱したり火中に投入したりしないで下さい。
破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- ・危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しないで下さい。
重大事故を引き起こす恐れがあります。
- ・本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らしたりしないで下さい。
感電など重大事故を引き起こす恐れがあります。
- ・電池は乳幼児の手の届かない所に置いて下さい。
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談して下さい。
- ・電池の液は舐めないで下さい。
万一、舐めた場合はすぐにうがいをし、医師に相談して下さい。
- ・電池の液が目に入ったり皮膚や衣服に付着したりした場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流して下さい。
失明や皮膚に障害を起こす恐れがありますので、医師の治療を受けて下さい。
- ・電池のプラス、マイナスを逆にして使用しないで下さい。
異常反応を起こし、電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。
- ・電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないで下さい。
電池がショートした状態になり、過電流が流れたりして電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。
- ・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないで下さい。
- ・本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしないで下さい。また濡れた手で電池交換をしないで下さい。感電の危険があります。
- ・長時間使用しない場合には、本器から電池を取り外して下さい。

電池から発生するガスにより電池を漏液、発熱、破裂させたり、本器を破損させたりする恐れがあります。

- ・使い切った電池はすぐ本器から取り出して下さい。
- ・使い切った電池を本器に接続したまま長期間放置すると、電池から発生するガスにより電池を漏液、発熱、破裂させたり、本器を破損させたりする恐れがあります。
- ・電池を廃棄する際は電極にテープを貼り絶縁して市町村の指示に従い、燃えないゴミとして捨てて下さい。端子が他の金属と触れると発熱・破裂事故の恐れがあります。
- ・また電池を加熱すると破裂する恐れがありますので絶対に火の中へ入れないで下さい。
- ・電池を交換する際は、必ず電源が切れた状態で行って下さい。
- ・電池交換後は必ず電池カバーを閉じてから使用して下さい。
- ・損傷や火災事故防止のため、電子レンジなどマイクロ波加熱炉では絶対に使用しないで下さい。

⚠ 注意

- ・高温や低温のところ、直射日光のあたる場所でのご使用、夏季の車内での放置はおやめ下さい。
極端な温度変化のある環境でのご使用は結露の原因になりますのでご注意ください。
- ・周囲に雑音を発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しないで下さい。表示が不安定になったり、誤差の原因になります。
- ・本器のカメラ部のレンズを太陽や強い光源に向けしないで下さい。
センサーが破損する恐れがあります。
- ・冬期間の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度がおそくなったり電池の消耗が常温での使用に比べて早くなったりします。
- ・暖房器具などの周辺でのご使用は、本体のプラスチック部の変形・故障の原因になりますのでご注意ください。
- ・本体は、防水構造ではありません。フレキシブルケーブルの防水部分以外は故障の原因となりますので、絶対に水に浸したり濡れたりしないように十分にご注意下さい。
- ・ケーブルとコネクタの接続部は防水構造ではありません。水滴が侵入すると故障の原因になります。
- ・カメラ部分を水圧が高い場所などで長時間水没させてのご使用はおやめ下さい。

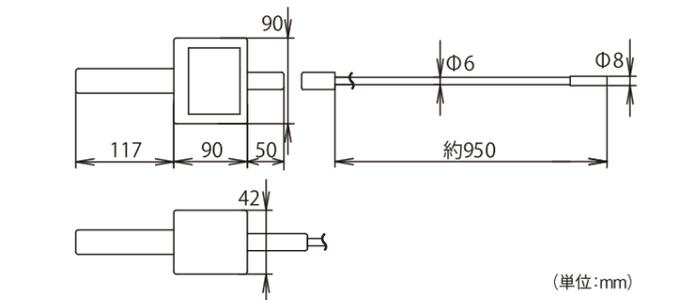
1. 製品概要

- ・本器には曲げた時の形状を保持でき、天井裏や棚の上等を観察するのに適したインターロックタイプのフレキシブルケーブルを付属しています。
- ・マグネット、シングルフック、ダブルフック、ミラーのアタッチメントが使用でき、パイプ内に落した部品を磁石やフックを使って回収する事が出来ます。
ミラーアタッチメントはカメラレンズ部の側面を観察するのに便利です。
- ・表示部には2.31型の見易いカラー液晶ディスプレイを採用。
- ・観察した画像をMicro SDカードにビデオ(動画)または静止画として保存できます。
- ・水がかかっても安心のIP67準拠の防水フレキシブルケーブルを採用。
(本体、コネクタ部(ケーブルとの接続部含む)は防水構造ではありません。)
- ・フレキシブルケーブルは脱着式でコンパクトに収納出来ます。
- ・フレキシブルケーブル先端には暗所を明るく照らすLEDライトを標準装備。
狭い空洞や奥深い中空スペース内部の検査・観察などに便利です。

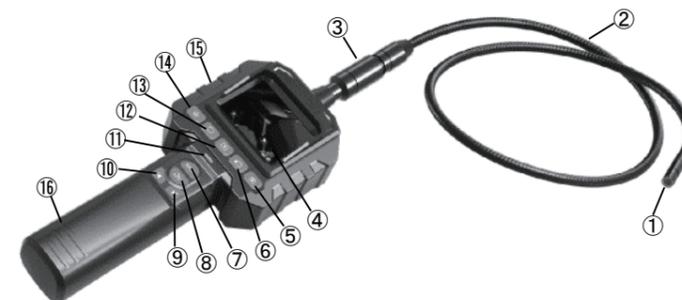
2. 製品仕様

ケーブル材質	PE被覆の銅ワイヤー
表示部	2.31型カラー液晶ディスプレイ
センサー	CMOSセンサー
カメラ解像度	640×480ピクセル
焦点距離	30～60mm
視野角	46°±5°
静止画ファイル形式	JPEG
ビデオファイル形式	AVI
最小ケーブル曲げ半径	45mm
防水性	フレキシブルケーブル部 IP67準拠(コネクタ一部を除く)
重量	約445g(電池含む)
使用温湿度	-10～+50℃、15～85%RH(但し、結露のないこと)
保存温湿度	-10～+70℃、15～85%RH(但し、結露のないこと)
電源	単3乾電池(1.5V)×4個 ※1
電池寿命	カメラ画表示:約4時間、カメラ画記録:約3.5時間
SDカードスロット	microSDカード 32GBまでサポート ※2、※3
付属品	・フレキシブルケーブル(カメラ部 φ8mm) ・マグネットアタッチメント、シングルフックアタッチメント、ダブルフックアタッチメント、ミラーアタッチメント、ラバーリング×2 ・取扱説明書
オプションカメラケーブル(別売)	SS-45 : φ4.5mm、全長98cm、弾カタイプ SSVC-9005 : φ9mm、全長5m、インターロックタイプ SSVC-4505 : φ4.5mm、全長5m、弾カタイプ SS-D9 : デュアルカメラ φ9mm、全長98cm、インターロックタイプ

※1 本器は電池を付属しておりません。
※2 弊社ではMicro SDカードの取り扱いを行っておりません。お客様にてご準備下さい。
※3 8GBカード使用時、約4.5時間分の記録が可能です。(フレームレート:30fps選択時)



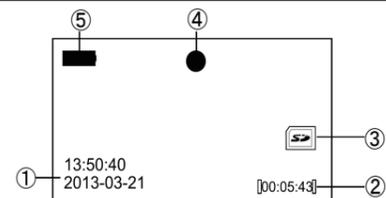
3. 各部の名称



① カメラ部(照明用LED付)	⑨ ボタン
② フレキシブルケーブル	⑩ ボタン
③ フレキシブルケーブル固定金具	⑪ 電源ランプ
④ 表示画面	⑫ 再生ボタン
⑤ 静止画撮影ボタン	⑬ 画面回転/削除ボタン
⑥ ビデオ(動画)撮影ボタン	⑭ 電源ボタン
⑦ MENUボタン	⑮ Micro SDカードスロット
⑧ OKボタン	⑯ グリップハンドル

4. 画面表示

①	日時表示
②	ビデオ(動画)記録時間
③	Micro SDカード表示
④	記録表示
⑤	電池残量表示



5. Micro SDカードの挿入方法

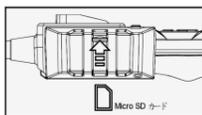
Micro SDカードをカードスロット⑬に向きに注意して挿入してください。

(カードの前面を上側に向けて下さい。)

カードが挿入されていないと表示画面のMicroSDカード表示③に アイコンが表示され、正しく挿入されると アイコンが表示されます。

(注意)

- MicroSDカードを初めて本器で使用する場合は、最初にカードのフォーマットを行って下さい。(「7.各種設定方法」<MicroSDカードフォーマット>項参照)
- 弊社ではMicroSDカードは取り扱いを行っておりません。お客様にて市販のMicroSDカードをお買い求め下さい。

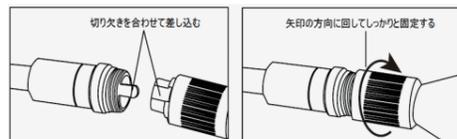


7. 各種設定方法

初期画面	選択方法	
<p>初期画面</p> <p>言語</p> <p>フォーマット</p> <p>デフォルト設定</p> <p>バージョン</p> <p>日時設定</p> <p>レコーダー設定</p> <p>再生</p>	<p>日本語</p> <p>フォーマット</p> <p>全ての設定をリセットします。</p> <p>バージョン</p> <p>日時設定</p> <p>フレームレート</p> <p>ビデオ</p> <p>静止画</p>	<p><言語設定> +/-ボタンで希望する言語の国旗を選択 日本語は を選択。 ・OKボタンで決定 ・MENUボタン2度押しでカメラ画面に戻る</p> <p><Micro SDカードフォーマット> ・フォーマットする場合、+/-ボタンで“はい”を選択 ・OKボタンで実行 ・MENUボタン2度押しでカメラ画面に戻る (注意)フォーマットを実行するとMicro SDカードに保存されている全てのデータが消去されます。</p> <p><デフォルト設定> ・全ての設定をリセットしてデフォルトに戻す場合は+/-ボタンで“はい”を選択 ・OKボタンで実行 ・MENUボタン2度押しでカメラ画面に戻る (注意)デフォルト設定を実行すると既に設定した内容がリセットされ工場出荷状態に戻ります。</p> <p><ソフトウェアのバージョン確認> ・バージョンを確認したらOKボタン ・MENUボタン2度押しでカメラ画面に戻る</p> <p><日時設定> ・OKボタンを押す毎に設定できる項目が“年”→“月”→“日”→“時”→“分”の順に黄色文字で表示。 ・+ボタンを押すと数値が1ずつ増加し、-ボタンを押すと数値が1ずつ減少。 ・設定が終了したらMENUボタン2度押しでカメラ画面に戻る</p> <p><レコーダー設定> 記録する動画のフレームレートを設定 ・+/-ボタンで30fpsまたは15fpsを選択 ・OKボタンで決定 ・MENUボタンを押してカメラ画面に戻る (参考)30fpsを選択するとなめらかな動きの動画が記録できますがデータサイズは大きくなります。</p> <p><再生> ビデオを再生 ・+/-ボタンでビデオ(動画)を選択 ・OKボタンで決定 ・再生リストから見たいファイル+/-ボタンで選択 ・OKボタンで再生 ・もう一度押すと一時停止。(再び再生する場合はOKボタンを押す) ・再生終了後、再生リスト表示に戻る ・MENUボタンを押してビデオ/静止画選択に戻る ・MENUボタンを押してカメラ画面に戻る</p> <p><再生> 静止画を再生 ・+/-ボタンで静止画を選択 ・OKボタンで決定 ・再生リストから見たいファイル+/-ボタンで選択 ・OKボタンで再生 ・MENUボタンを押して再生リストに戻る ・MENUボタンを押してビデオ/静止画選択に戻る ・MENUボタンを押してカメラ画面に戻る</p>

6. 初期設定

- (1) 本体に電池が装着されていない場合は、「9.電池の交換方法」の項を参考に電池を装着して下さい。
- (2) 本体にフレキシブルケーブルを取り付けます。
 フレキシブルケーブルのコネクター部を本体へしっかりと差し込み、持ちながらフレキシブルケーブル固定金具③を引き上げ、下図の矢印の方向へ回して固定して下さい。



(注意) 本体にフレキシブルケーブルが正しく接続されていないと「カメラケーブルの接続を確認して下さい!」と警告が表示されます。その時はもう一度取付けを確認して下さい。

- (3) ご使用の前に各種設定を行います。
 電源ボタン“”⑭を約3秒以上長押しすると電源ランプ⑪が点灯し電源が入ります。カメラの画像が表示されたらMENUボタン⑦を押して下さい。各種設定の初期画面が表示されたら“”ボタン⑨または“”ボタン⑩で設定したい項目を選択し、OKボタン⑧を押します。各種設定方法については次項「7.各種設定方法」を参照し設定して下さい。画面操作時、画面が見づらい場合は手に持って画面の向きを見やすい角度に変えるか、画面左上の表示を参照して下さい。

8. 使用方法

- (1) 電源ボタン“”⑭を約3秒以上長押しすると電源ランプ⑪が点灯し電源が入り、表示部④にカメラ①で撮影された画像が表示されます。
 電源ON中に再び電源ボタン“”⑭を約3秒以上長押しすると、画面が消えて電源をOFFすることができます。
- (2) ビデオ(動画)撮影ボタン“”⑥または静止画撮影ボタン“”⑤を押すと現在表示されている画像をMicroSDカードにビデオ(動画)または静止画として保存することができます。
 ビデオ(動画)記録中にもう一度ビデオ(動画)撮影ボタン“”⑥を押すとビデオ(動画)記録が停止します。
 (注意) ビデオ(動画)は自動的に3分ごとのファイルに分割され保存されます。“メモリ不足”の表示が出た場合はSDカードの残容量がありません。カードを交換して下さい。
- (3) カメラ画像が表示された状態で“”ボタン⑨または“”ボタン⑩を押すとカメラレンズ部①に装着されているLEDライトが点灯し明るさを8段階に調整することができます。
- (4) 画面回転/削除ボタン“”⑬を押す毎に表示部④のカメラ画像が左右反転、上下反転、上下左右反転の順に回転します。



- (5) ビデオ(動画)/静止画の再生方法
 カメラの画像が表示された状態で再生ボタン“”⑫を押すとビデオ(動画)と静止画の再生画面が表示されます。
 再生方法は(「7.各種設定方法」<再生>)項を参照して下さい。
- (6) ビデオ(動画)/静止画ファイルの削除方法
 (6-1) カメラの画像が表示された状態で再生ボタン“”⑫を押すとビデオ(動画)と静止画のフォルダーが表示されます。
 (6-2) “”ボタン⑨または“”ボタン⑩でビデオ(動画)/静止画を選択しOKボタン⑧を押すと再生リストが表示されます。
 (6-3) 再生リストから“”ボタン⑨または“”ボタン⑩で削除したいファイルを選択し画面回転/削除ボタン“”⑬を押すと以下の画面が表示されます。
 (6-4) “”ボタン⑨または“”ボタン⑩で“はい”を選択し、OKボタン⑧を押すと選択したファイルが削除されます。



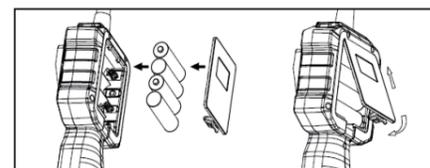
※ ビデオ(動画)/静止画の再生状態では削除できません。

9. 電池の交換方法

電池の交換時期が近づくと画面表示の電池残量表示“”⑤及び、電源ランプ⑪が点滅しますので早めに電池を交換して下さい。

- (1) 電源ボタン“”⑭を約3秒以上長押しして電源を切ります。
- (2) フレキシブルケーブル固定金具③をゆるめて本体からフレキシブルケーブル②を外します。
- (3) 電池蓋のフックを外して電池蓋を外します。
- (4) 古い電池を取り外し、新しい電池を極性に注意して正しく装着します。
- (5) 電池蓋を元に戻し、フレキシブルケーブル②を元の通りに接続します。

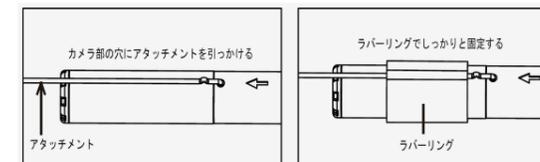
※ 電池の交換後は日付時間をご確認ください。



10. 付属のアタッチメントについて

本器にはマグネット、シングルフック、ダブルフック、ミラーのアタッチメントが付属しています。カメラ部には下記の手順で取り付けて下さい。

- (1) カメラ部に付いている穴に各種アタッチメントを引掛けるようにはめ込みます。
- (2) 付属のラバーリングを使ってしっかりと固定します。



※ 付属アタッチメントやラバーリングは小さい部品です。紛失しないようご注意ください。

11. Micro SDカードについてのご注意

- Micro SDXCカードはご使用になれません。
- 本器にMicro SDカードを入れる時には正しい向きで「カチッ」と音がするまで確実に入れて下さい。無理に間違った向きに入れたり、差し込みが不十分ですと、本器やMicro SDカードの破損の原因となったり、データの書き込みができなくなります。
- 落下、水漏れしたMicro SDカードや、強い衝撃を加えたり曲がった様な異常のあるMicro SDカードはご使用にならないで下さい。
- Micro SDカードの金属端子部を指や金属で触らないで下さい。また、ポケットなどにMicro SDカードと金属物を一緒に保管しないで下さい。
- Micro SDカードの故障やデータ破損の原因となることがあります。
- 本器でお使いになるMicro SDカードは、本器でフォーマットしてからお使い下さい。パソコンや他の機器でフォーマットされると、記録・読み出しができない場合があります。
- Micro SDカードは本器の電源が切れている状態で挿入・取出しを行って下さい。動作中やデータ書き込み中にMicro SDカードの抜き差しを行うと、データやMicro SDカードの破損の原因となります。
- Micro SDカードの残容量が十分にある状態でご使用下さい。残容量が少ない場合、正常にデータの書き込みができない場合があります。
- 全てのメーカーのMicro SDカードでの動作保証は出来ておりません。一部のMicro SDカードではご使用になれない場合がありますのでご了承願います。
- Micro SDカードの表面にシール、テープ、付箋等を貼らないで下さい。本器内部で剥がれると、Micro SDカードが取り出せなくなる場合があります。
- 万一、本器の原因によりMicro SDカードや内部のデータが破損した場合は一切その責任を負いかねますので、予めご了承下さい。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。
- Micro SDカードに本器で保存したビデオ(動画)や静止画をパソコンで再生する場合は、ファイル形式に対応した再生用ソフトが必要です。また再生の際、再生用ソフトの縦横比(アスペクト比)を4:3に設定して下さい。